

事業概略書

事業名	こどもホスピス支援モデル事業
事業目的	こどもホスピスを必要としている、いわゆるLTC（Life-Threatening Conditions：生命を脅かされる状態）にあるこどもの実態把握のための関係者による協議会や実態調査を行うとともに、豊かな生活を積極的に支える場所として重要な地域型こどもホスピスの取組みを支援することにより、LTCにあるこどもとその家族のQOLの向上を図る。
事業概要	（１）関係者による協議会等の開催 県内の地域型こどもホスピスとの支援連携の方策や、県内のLTCにあるこどもの実態把握等について、協議会等を開催し検討する。 （２）LTCにあるこどもの実態調査 県内のLTCにあるこどもの人数と、その家族を含めた実態や支援ニーズ等を調査する。 （３）地域型こどもホスピスに対する取組支援 LTCにあるこどもの遊びの支援、学びの支援、こども同士の交流、生活全般の支援、およびきょうだい児支援、グリーフ・ケアなどの家族支援等のプログラムを実施する民間団体等（地域型こどもホスピス）に対して支援する。
事業実施結果及び効果	（１）LTCのこどもとその家族の状況や課題、必要な支援について、関係者で協議をする場を構築することができた。 （２）県内のLTCにあるこどもの実数やその家族を含めた実態や支援ニーズについての調査結果を踏まえ、LTCのこどもを地域全体で支えていくため、来年度の協議会において、実態調査からみえた課題を共有するとともに、関係機関と連携し、地域型こどもホスピスの活動に対する必要な支援方策等について協議する。 （３）グリーフケアの拡充を目的とした新たな取組が実施され、LTCのこどもを失った家族に対するグリーフケアの充実につながった。
今後の展開	調査結果等を活用し、令和8年度も引き続き、県内のLTC（Life-Threatening Conditions）にあるこどもとその家族の課題や支援方策等について、協議会を開催し検討するとともに、地域型こどもホスピスの活動に対する支援を行う。

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。